

平成 29 年度
自己点検・評価報告書

平成 31 年 3 月
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校

成 2 9 年 度 学 校 自 己 点 検 ・ 自 己 評 価 結 果

附属看護専門学校三郷校

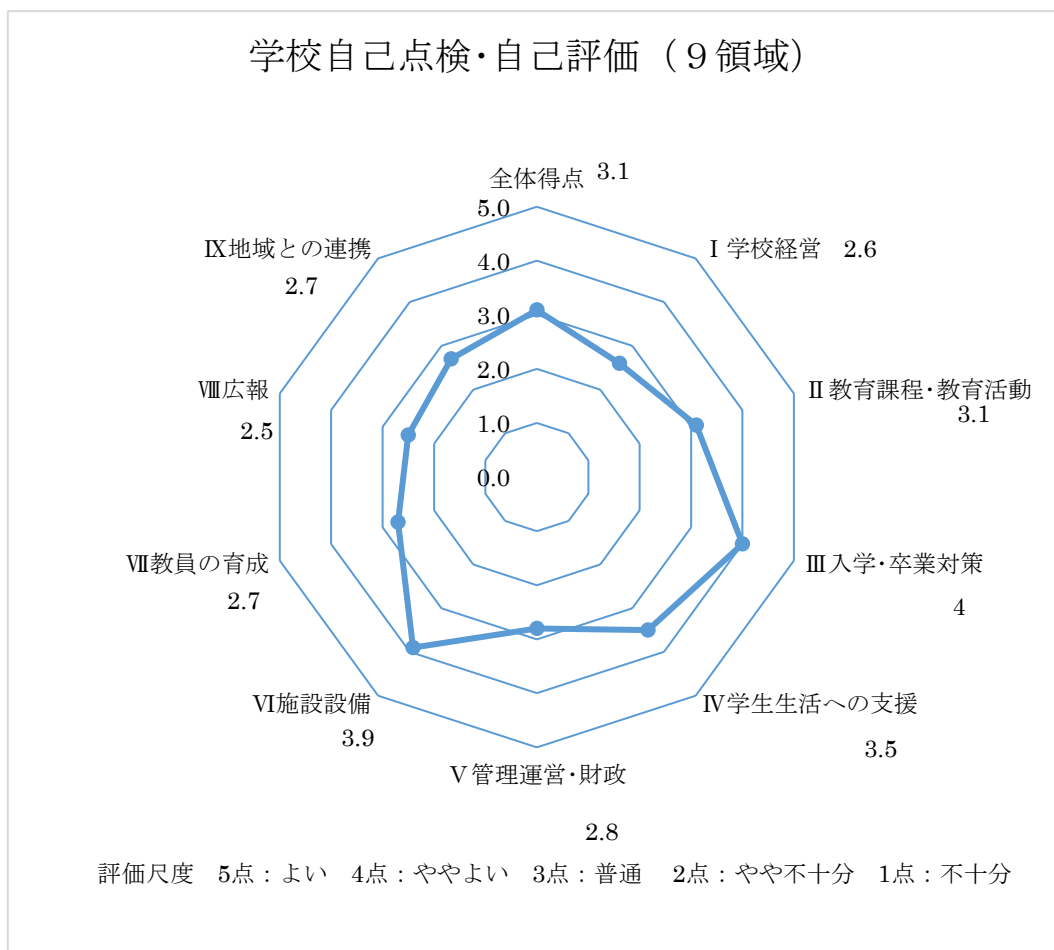
本校は、開校から3年が経過し初めての卒業生を輩出いたしました。

完成年度を機に、教育機関としての機能の維持・向上、学生及び地域から信頼され愛される学校づくりにつなげることを目的に、以下の領域に対し教職員による学校評価を実施いたしました。

1. 学校評価項目：9領域（47項目）5段階評価

領域	項目	領域	項目	
I 学校経営	1 学校のビジョン及びそれを実現するための組織目標を策定しており、かつその目標が教職員に理解されている	IV 学 の 生 支 援 活 へ	27 学生生活・進学・就職などの進路に関して学生の相談に十分応じている	
	2 組織目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知すると共に、次年度の目標につなげている		28 学生の身体的側面の健康確保に努めている	
	3 学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知すると共に改善計画を策定しているか		29 サークル活動、ボランティア活動等の自主活動を支援している	
	4 特色ある学校づくりを進めるために教育内容の充実に努めているなど、学校独自のカラーを出している	V 管 理 運 営 ・ 財 政	30 予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っている	
	5 合同会議が、学校運営に関する議論の場として機能している		31 学生や非常勤講師、教職員の個人情報の保護について、考慮している	
	6 教員会議が、学年の目標達成や年間指導計画実施の場として機能している		32 災害など非常時の危機管理体制が整っている	
	7 学校運営のための組織を整備している		33 学生運営に学生の意見が反映されるように努めている	
II 教育課程・ 教育活動	8 養成する看護師が卒業時において持つべき資質を明示していると共に、卒業時の到達状況を分析している。	VI 施 設 設 備	34 校舎は耐震性に優れ、バリアフリーなどに配慮された構造になっている	
	9 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容になっている		35 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている	
	10 シラバス（授業計画）は科目間で調整され学生に活かされている（授業）とは講義・演習・実習をさす		36 図書室は利用しやすく学生に十分活用されている	
	11 講義・演習の一貫性と科目間の関連性を確保するため、関係者間の連携を取っている		37 実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品が整い、十分にその機能を果たしている	
	12 効果的な授業運営を図るため、適切な時間割を調整している	VII 教 職 員 の 育 成	38 学生のために、休息、親睦及び交流を行なうためのスペースが設けられている。	
	13 授業内容や指導方法が学生レベルに合うように工夫されている		39 学校の抱えている課題をふまえた職場研修を行なっている	
	14 授業を効果的に行うための学習環境施設・整備・教員が整えられている		40 学会または研修等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがある	
	15 学生の単位取得に向けた支援を実施している		41 教員が計画的に研究活動を行えるよう体制を整えている	
	16 実習目標が達成されるよう実習環境が整備されている	VIII 広 報	42 専門領域を高めるよう名支援体制が整っている	
	17 実習指導者と教員の役割を明確にし互いに協力し実習指導に当たる体制があるか		43 教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度がある	
	18 学生に修了認定の評価基準と方法を公表しておりかつ評価について公平性、妥当性が保たれている		IX の 地 域 携 と	44 学校の存在を周知するため、ホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしている
	19 実習における医療安全の確保や倫理的な行動に関する教育を行っている			45 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に何らかの方法で公表している
	20 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている		46 地域社会への貢献の一貫として、学校施設を地元へ開放している	
	21 学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し授業の改善に努めている	47 地域との協力関係が確立されている		
III 入 学 ・ 卒 業 対 策	22 より多くの応募者を確保することに努めている			
	23 国家試験対策に個々の学生に合った指導・援助を実施するなど教職員一丸となって取り組んでいる			
	24 質の高い卒業生を多く輩出するための努力を行っている			
	25 卒業生への支援を行っている			
	26 獨協医科大学への就職率を高めるよう努力している			

2. 評価のまとめ



I 学校経営

総合評価は2.6と低い評価となった。学校評価を実施していない点で評価点が低くなったと思われるが全体的に学校組織内容や教育実践内容が教員に周知されていないことが見えてきた。

【課題】

- (1) 学校のビジョン・組織目標に対する理解不足と各委員会・プロジェクト活動との整合性
- (2) 初めての学校評価を実施しての改善策の提示
- (3) 学校運営組織の整備と権限、位置づけの明確化と教員会議の在り方の見直し

【今後の改善策】

- (1) 学校の理念・目標・卒業時の学生像と学校運営方針を具体化した様々な活動内容の評価との整合性を図り、教職員への周知を徹底していく。
- (2) 今回の学校評価実施の経緯を含めて、早急に課題を抽出し次回の学校評価へつなげていく。
- (3) 事務及び教務の役割、権限の明文化を行い教員会議の課題を抽出し、効果的な会議の実施を図っていく。

II 教育課程・教育活動

総合評価は3.1と3以上となっているが、小項目Ⅱ-8、Ⅱ-10、Ⅱ-11、Ⅱ-12、Ⅱ-13においてわずかではあるが不十分との結果であった。

【課題】

- (1) 卒業時の到達度状況の評価・分析方法が十分検討されていない。
- (2) シラバスにおいて、学生が主体的に学習に取り組み、自己評価し成長できるような分野・科目間の関連性が見えにくい。
- (3) 学生・教員双方にとって効果的な授業運営ができるような時間割の調整が不十分である。
- (4) 全科目の授業評価が実施できていない。

【今後の改善策】

- (1) 附属病院との一貫教育を目指した卒業時の到達度評価表の作成と実施を目指す。
- (2) 学生が主体的に学習に取り組めるようなシラバスの作成に取り組む。
- (3) 定員増における授業時間の増加、実習時期、業務役割を考慮した時間割の調整と理解に取り組む。
- (4) 全授業科目の統一した授業評価の実施などの対策に取り組む。

Ⅲ 入学・卒業対策

総合評価は4.0と高評価である。小項目においても3.9以上であった。今後も入学生の確保と入学後の関わりも含めてさらに検討を行い、より質の高い教育の提供ができるよう教職員一丸となり取り組んでいく予定である。

Ⅳ 学生生活への支援

総合評価3.5であり高評価である。小項目ではⅣ-29が2.9と低めである。

【課題】

- (1) 学生の自主活動を支援する体制が不十分である。

【今後の対策】

- (1) 入学時より社会福祉協議会や関係機関と連携し、学生がボランティア活動を行えるような体制と実践後の評価を整えていくことが必要である。

Ⅴ 管理運営・財政

総合評価は2.8であり、小項目Ⅴ-32、Ⅴ-33について評価が低い。

【課題】

- (1) 本校学生の災害時の危機管理体制の不備（備蓄）が整っていない。
- (2) 学生の意見・要望について、明確な回答が公開されておらず対応が迅速に行われていない。

【今後の対策】

- (1) 学生個々に最小限の備蓄を備え、学校内に災害用の備蓄を準備するよう取り組む。
- (2) 学生の意見・要望に対して迅速に対応し、学生への回答を提示するよう取り組んでいく。

Ⅵ 施設設備

総合評価は4.0と高評価である。

課題・今後の対策は特になし。

Ⅶ 教職員の育成

総合評価は2.7であり、改善を必要とする小項目が多い。

【課題】

- (1) 学会・研修での成果の伝達講習の還元を通して、全教員の質の向上に向けた取組みが不足している。
- (2) 教員の研究活動への支援体制（時間の確保・指導体制）が整えられていない。
- (3) 教員の授業研究の必要性と効果が共通理解されていないことや方法や時間の確保が明確でない。

【今後の対策】

- (1) 学会や研修の伝達講習の体制を作り、タイムリーに共有し、教育の質の向上に努める。
- (2) 研究活動の基盤を作るための研修や個々が研究内容を相談できる支援体制を構築する。
- (3) 授業参観やリフレクションの効果、共同で作り上げていく教育方法の仕組みや楽しさを共有できる場を整えていく。

Ⅷ 広報

総合評価2.5である。受験生を始めとする学外者に向けた本校の情報発信が不足している。

【課題】

- (1) ホームページの更新がリアルタイムで行えていないことで情報発信が遅い。
- (2) 初めての学校評価結果と今後の学校関係者評価に向けて計画的な対策が不足している。

【今後の対策】

- (1) タイムリーなホームページの更新ができる体制づくりを整える
- (2) 学校評価実施へ向けた課題の抽出とその結果を踏まえた改善策の検討及び今後の学校関係者評価に向けた計画を整備・策定する。

Ⅸ 地域との連携

総合評価は2.7であるが、地域との連携は開校当初より築いてきたものが大きい。

【課題】

- (1) 地域住民に対しての学校施設の開放が不十分である。

【今後の対策】

- (1) 施設開放には課題が多く、三郷市を始めとする関連部署との調整が必要であるため、本校施設を利用した公開講座や学校公開（文化祭等）などの催しを通じ、広く地域住民に対し学校を開放する機会を検討する。

3. 今後の課題

初めて学校評価に取り組み、学校の強みと弱みが明らかになってきました。今後授業評価、学生満足度調査とともに学校関係者評価が実施できるよう準備してまいります。

今後も本校の強みをさらに強化するとともに、今回の学校評価の結果から組織運営の改善に努めていきたいと考えています。